

平成24年度 第10回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成25年2月12日（火） 10時30分～11時50分

場 所 大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，川上監事，福本文化教育学部長，平地経済学部長，濱崎医学部長，林田工学系研究科長，藤田農学部長，稲岡附属図書館長，遠藤教養教育運営機構長，門出海洋エネルギー研究センター長，事務局長

欠席者 なし

陪席者 大島学長補佐

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 美術館設置事業の募金状況等について

総務課長から，2月8日現在の美術館設置事業の募金状況について，教職員，個人・学外，法人・団体など寄附者の内訳，金額及び募金率等の報告と，今後とも各部局等において協力いただきたい旨の依頼があった。

また，先週から工事着工のための準備が始まり，2月14日に起工式を行うこと，また，関係者に対して参加依頼があった。さらに，美術館に出店するカフェの選考が済み，3月に契約を行う予定である旨の報告があった。

(2) 大学改革実行プランの対応について（課題への対応）

学長から，本件について，大学改革実行プランにおけるミッションの再定義に関する文部科学省との意見交換等の経緯についての報告，また，今後実施予定の分野は各専門分野ごとの強み，特色，社会的役割を伸ばしていくための戦略を示す必要があること等の説明があった。

次いで，企画評価課長から，各資料についての補足説明と短期間に各部局で対応いただいたことに対して謝辞があった。

(3) 第3回中期目標・中期計画実施本部会議について

企画評価課長から，2月6日に開催された第3回中期目標・中期計画実施本部会議の報告として，①平成24年度自己点検・評価書（実績報告書）

作成について、「年度計画の自己点検・評価書作成に係る実施要領」の一部を改訂した内容や作成にあたっての留意点等、②平成25年度年度計画等策定スケジュールについて、③機関別認証評価等の受審に向けた作業部会の設置について、それぞれ詳細の説明があった。

(4) 平成24年度第16回拡大役員懇談会における議論の概要について
学長から、本件について、1月16日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

(5) 平成24年度政府補正予算案（佐賀大学関係）について
財務課長から、本件について、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（平成25年1月11日閣議決定）を踏まえ、平成25年1月15日に閣議決定されたもので、その内容として、給与改定臨時特例法に基づく国家公務員の給与削減と同等の給与削減相当額が751,643千円である旨とその削減の考え方の説明があった。また、平成24年度補正予算（第1号）における対象予定事業等について、すでに報告済みの経済対策対象予定事業4件（約6億円）並びに平成24年度国立大学法人等施設整備実施予定事業4件に加え、今回、復興関連事業対象予定事業として、新たに4件（約6億円）が追加予定である旨の報告があった。また、本件の内容は国会審議中である旨の補足説明があった。

(6) 平成25年度国立大学佐賀大学運営費交付金予定額（政府案）等の概要について

財務課長から、本件について、昨年度比6億14百万円（5.73%）の減で、100億96百万円の予定額である旨及び主な増減要因、国立大学改革強化推進補助金及び大学教育研究基盤強化促進費の説明、また、運営費交付金対象事業主要事項一覧の採択状況等について報告があった。

次いで、企画管理課長から、平成25年度国立大学法人等施設整備実施予定事業、平成24年度補正予算（第1号）、平成25年度当初予算＜復興関連事業＞について、その概要と採択事業の内訳の説明があった。また、平成25年度施設整備事項により事業一覧の説明があり、工事が多く発生することについて関係各位への協力依頼があった。

さらに、本件は2月中旬に国会提出後、5月頃に決定予定である旨の補足説明があった。

また、構成員から、工事が集中することで安全面に留意願いたいこと、身障者の学生の駐車場等について配慮願いたいこと及び施設課に対し一元的に実務的対応をおこなう窓口を整えて欲しい旨の要望があった。

(7) 平成25年度一般入試志願者状況について

入試課長から、本件について、一般入試の志願者数が平成15年10月の大学統合後最高値となったこと、また、競争倍率は昨年比1.2倍であり、九州地区の国立大学では突出した伸びであったこと、また、各学部の増減及びその要因について説明があった。

(8) 平成24年度就職内定状況について（2月1日現在）

就職支援課長から、本件について、対前年度同時期比の学部で、1.6ポイント増、大学院で1.4ポイント増、総計で1.4ポイント増となっている旨、また、各学部別の就職内定状況について説明があった。さらに、学生の就職先を把握するための方策として、卒業証書の授与の際に確認するなどの工夫について報告があり、各学部等において、更なる就職内定状況の把握に協力いただきたい旨の依頼があった。

(9) 平成25年度留学生交流支援制度（短期受入れ・短期派遣）【日本学生支援機構】への申請状況について

国際課長から、日本学生支援機構が募集している平成25年度留学生交流支援制度（短期受入れ・短期派遣）への申請状況、また、九州地区他大学と比較し本学の申請状況が多い結果であったことの報告があった。

(10) 給与削減の考え方及び本学の対応について

学長から、本件について、平成24年度政府補正予算案が平成25年1月15日に閣議決定され、本学に交付される平成25年2月及び3月の運営費交付金について約7億5千万円が減額されることが決定したことに伴い、その給与削減の考え方及び平成24年度政府補正予算案の内容について説明があった。また、それを受けての本学の対応案について、給与削減を行っていない4月及び附属学校の教員にかかる給与削減相当額については予備費で対応すること、附属病院収入による医療系職員の給与削減相当額については附属病院収入をもって充てること、附属学校の教員については地方公共団体の動向を留意しつつ対応すること等の説明があり、本件を全職員へ通知する旨の発言があった。

(11) 法人本部と部局における貸借関係について

学長から、本件について、法人化時において、附属病院収入を財源とした積算額のうち、人件費相当額については、人件費の法人一括管理の観点から、本学人件費の内数として支出予算化をおこなっていたが、本事例は健全な病院経営の面から問題であると認識し段階的な改善を図ることとしたこと、その内容については、経緯等を報告し残しておくものである旨の説明があった。

また、法人本部立替分の返済計画について、各学部等の事情について意見交換があった。

- (12) その他
特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

- ・ 文化教育学部長から、現在、文化教育学部は、2つの施設が改築にはいっており、教室確保に苦慮しつつ時間割を検討しているところである。そのため、各学部の空き時間に教室を借りることも想定されるため、関係各位への協力について依頼があった。併せて、学長からも学務部に対して協力依頼があった。

また、学長から、建物施設についての考え方として、学部や学科の占有であるという認識ではなく、全学的視点を持って利用いただきたい旨の依頼があった。

【 その他 】

・

以 上